

参考

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉県戦略」に
関連する県の主要事業

(平成26年度2月補正予算及び平成27年度当初予算)

＜留意事項＞

- ※ 本資料は、戦略に示された取組のうち、県が平成26年度2月補正予算及び平成27年度当初予算に計上している主な事業を抜粋したものです。(戦略に関連するすべての事業を網羅したものではありません。)
- ※ 本資料では、オリンピック・パラリンピックに向けた新規事業、及び既存事業のうちオリンピック・パラリンピックに向けて拡充する事業、並びに戦略の中で個別に記載している取組に関連する事業について、予算額を記載しています。また、戦略に関連するその他の主な事業についても、参考として記載しています。
- ※ 本資料には、企業・団体・大学・市町村など県以外の主体がすでに実施している、又は実施を予定している事業については記載されておきませんので、あらかじめ御了承ください。

戦略1 キャンプ・国際大会・MICE誘致

○事前キャンプの誘致

・それぞれの国、競技にマッチしたキャンプ受入の体制づくり

・東京オリンピック・パラリンピック関連施設に関する貸付事業【新規】

【特別会計市町村振興資金】300,000千円

市町村が行うキャンプ誘致の取組を支援するため、関連する競技場等の施設整備や改修に係る資金を無利子で貸し付けます。

・総合スポーツセンター武道館空調設備整備事業【新規】 14,130千円

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致を進めるに当たって、新たに空調設備を整備するための実施設計を行います。

・世界選手権などプレ大会を含めたキャンプ誘致

・北京世界陸上事前合宿受入事業【新規】 77,000千円

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致につなげるため、市町村や大学等と連携して、平成27年8月に開催される世界陸上北京大会の事前合宿を受け入れます。

・東京オリンピック・パラリンピックCHIBA推進会議事業 15,000千円

スポーツや観光、経済など多様な分野の代表者で構成する推進会議において、オール千葉体制でキャンプや国際大会の誘致、競技力の向上、外国人に受入体制など具体的な取組を推進します。

・パラリンピックキャンプ受入体制の整備

・パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業補助金（モデルキャンプの実施）【新規】 18,000千円

パラリンピック競技のキャンプ誘致に向けた機運を醸成するとともに、誘致に取り組む市町村を支援するため、国内外のトップ選手等によるモデルキャンプの実施に要する経費に対し助成します。

○国際大会等の誘致

・世界選手権など国際大会の誘致推進

・国際スポーツ競技大会支援事業【新規】 10,000千円

スポーツの振興と地域の活性化を図るため、世界選手権などの国際競技大会の開催経費の一部を助成します。

○誘致に関する情報の一元化

・オリンピック・パラリンピック後も見据えたキャンプや国際大会等の誘致

・千葉県スポーツコンシェルジュ運営事業【新規】 24,500千円

東京オリンピック・パラリンピックやプレ大会のキャンプ等の誘致を進めていくため、競技ごとに調整が必要となる競技施設、宿泊施設など多岐にわたる事項についてワンストップで相談・支援を行う「スポーツコンシェルジュ」を設置します。

戦略2 競技力の向上・スポーツの普及

○2020年に向けた競技力の向上

・ジュニア世代の競技力強化

・障害者スポーツ選手の競技力強化

・東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業

115,000千円（H26 100,000千円）

東京オリンピック・パラリンピックに本県出身の選手を一人でも多く輩出するため、ジュニア世代の選抜選手を強化する取組に助成するとともに、新たに障害者スポーツ選手を強化する取組への助成を開始します。

○パラリンピック競技や障害者スポーツの普及・振興

・パラリンピック競技や障害者スポーツの普及

・パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業補助金（交流会等の開催）

【新規】〔再掲〕

パラリンピック競技のキャンプ誘致に向けた機運を醸成するとともに、誘致に取り組む市町村を支援するため、国内外のトップ選手等と市民との交流会の実施に要する経費に対し助成します。

○県民のスポーツ振興や健康づくり機運の醸成

・スポーツを利用した地域の活力づくり

・スポーツコンシェルジュ運営事業【新規】〔再掲〕

「スポーツコンシェルジュ」を設置し、スポーツツーリズムによる本県への来訪者を増加させ、交流人口の増加による地域活性化を実現させるため、新たな国際大会や国際的なスポーツイベント、国内の大学・高校の合宿の誘致などを行います。

【参考】県民のスポーツ振興や健康づくり機運の醸成

・ちばアクアラインマラソン開催準備事業

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、本県が有する様々な魅力を発信するため、平成28年度に3回目の「ちばアクアラインマラソン」を開催することとし、運営方法の検討やPRイベントを実施します。

・国際千葉駅伝開催事業

国際スポーツ交流を通して本県をPRするとともに、県民のスポーツに対する関心及び競技力の向上並びに国際化への意識の高揚を図るため、「国際千葉駅伝」を開催します。

戦略3 成田空港の利便性向上、交通ネットワーク・アクセスの強化

○成田空港のネットワークの強化・充実

- ・成田空港活用協議会負担金 25,000千円(H26 25,000千円)

成田空港を活用した県経済の活性化を図るため、官民が連携して設立した「成田空港活用協議会」の事業費等の一部を負担します。

○交通ネットワークの強化・充実

・空港から県内外へのアクセスの強化

- ・成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業【新規】

※2月補正分 100,000千円

成田空港利用者を南房総地域や銚子地域などの県内観光地に呼び込むため、空港から県内観光地を直接結ぶバスを、無料により実証運行します。

【参考】交通ネットワークの強化・充実

- ・道路橋梁事業（圏央道インターチェンジへのアクセス強化事業、ふさの国観光道路ネットワーク事業ほか）

交流・連携を広げ、県土の発展に資するように、効果的、効率的な道路整備を進めます。

- ・鉄道施設耐震対策事業補助

首都直下地震など大規模地震に備え、成田空港へのアクセス路線を対象に、鉄道事業者が行う鉄道施設の耐震化に要する経費に対し補助を行います。

戦略4 バリアフリー化の促進

○障害者や高齢者など利用者の視点に立った施設の整備など、ハード面でのバリアフリー化

- ・オリンピック・パラリンピックを契機に多くの利用者が見込まれる空港や主要駅などの旅客施設、車両等の重点的なバリアフリー化

- ・鉄道駅バリアフリー設備整備等事業補助 50,000千円(H26 50,000千円)

高齢者や障害者をはじめ、誰にでも安全かつ利用しやすい駅とするため、駅バリアフリー設備の整備事業に要する経費の一部を市町村に対して補助します。

- ・ノンステップバス等整備事業補助 21,000千円(H26 21,000千円)

交通バリアフリー化を推進するため、路線バス車両におけるノンステップバス等の導入に要する経費に対して補助します。

- ・キャンプ関係施設や宿泊・観光・ショッピングなどの施設のバリアフリー化

- ・東京オリンピック・パラリンピック関連施設に関する貸付事業【新規】〔再掲〕

戦略5 魅力ある観光地づくり

○観光地の受入環境の整備・おもてなし力の向上

・受入環境の整備

- ・観光地トイレ整備スピードアップ事業 ※2月補正分 100,000千円
民間観光公衆トイレの整備に対する助成について、補助率を引き上げ、さらなる整備の促進を図ります。
- ・観光地魅力アップ整備事業 200,000千円（H26 200,000千円）
観光地の利便性を高め魅力向上を図るため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内所の設置・改修について、その経費の一部を助成します。

・おもてなし力の向上

- ・海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修事業【新規】〔戦略6(P.6)参照〕

【参考】観光客の安全・安心の確保

- ・地域防災力向上総合支援補助金【新規】
市町村が地域の実情を踏まえ、主体的に創意工夫を持って取り組む事業を幅広く支援する補助制度を創設し、県全体の地域防災力の向上を図ります。
- ・コンビニ防犯ボックス設置事業〔戦略7(P.7)参照〕
- ・市町村防犯対策設備設置事業補助
全国的にも発生件数の多いひったくり等の発生防止のため、市町村における防犯カメラの設置に対し助成するとともに、新たに、青色防犯パトロール車（青パト）へのドライブレコーダー整備に対する助成制度を設け、路上犯罪の抑止対策を強化します。

【参考】観光地としての新たな魅力の創出

- ・訪日外国人に向けたちばの地酒PR事業【新規】
近年、日本酒に対する外国人の関心が高まっているとともに、本県は隠れた酒どころであることから、海外の旅行会社・マスコミを対象に、県内の酒蔵を巡るモニターツアーを実施し、本県の地酒の魅力をPRします。
- ・大規模イベント支援事業
観光客の誘致を一層促進するため、宿泊・滞在につながる大規模イベントに対して助成します。
- ・宿泊・滞在型観光推進事業
経済効果の高い宿泊・滞在型観光の促進を図るため、旅行商品の開発やウェブサイトによる予約システムの構築などの地域の取組に対し助成します。
- ・水産物販売促進対策事業
県産水産物の効果的な販売促進活動を行うため、地域で開催されるイベントや直売所と連携したキャンペーンを実施するとともに、海外への輸出促進に取り組みます。

戦略6 外国人受入体制

○外国人観光客の受入環境の整備

・多言語表記・案内の充実

・訪日観光客商店街おもてなし事業【新規】 10,000千円
東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、日本を訪れる外国人観光客などを迎え入れるため、商店街が行う接客講習会や情報発信の取組を支援します。

・多言語観光案内板整備事業 10,000千円

・道路案内標識英語表記事業【新規】 10,000千円
東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の受入体制を整備するため、外国語を併記した観光案内板や道路案内標識の整備を進めます。

・外国人対応人材の育成

・外国語観光ボランティアガイド養成事業 2,400千円
東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の受入体制を整備するため、本県の歴史や文化、自然、風習などの知識を有する外国語ボランティアガイドを養成するため、研修会を実施します。

・通訳ボランティア養成事業〔戦略8(P.8)参照〕

・海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修事業【新規】 10,000千円
東京オリンピック・パラリンピック等に向け外国人観光客の増加が見込まれることから、県内の観光施設経営者や従業員等を対象に、海外からの観光客にも満足いただけるような先進的なおもてなしについて情報を共有する講習会を行い、オール千葉でのおもてなし力向上を図ります。

・無料公衆無線LANの整備等

・外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業【新規】
※2月補正分 100,000千円
東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人観光客向けの公衆無線LANの整備に対する助成について、制度を拡充し、整備促進を図ります。

○外国人へのおもてなし力向上

・コミュニケーション力の向上

・国際教育交流推進事業（文化交流イベントの実施）【新規】 1,000千円
国際感覚や多文化理解の醸成に向けて、県民の日の交流イベントに合わせ、訪日高校生等との宿泊体験や伝統食作りなどの生徒間交流を行います。

【参考】外国人へのおもてなし力向上

・高校生等海外留学助成事業〔戦略8(P.8)参照〕

・語学指導等を行う外国青年招致事業〔戦略8(P.8)参照〕

戦略7 危機管理・安全対策

○まちの安全・安心

・治安・防犯対策

・コンビニ防犯ボックス設置事業 38,500千円（H26 22,400千円）

コンビニエンスストア等を拠点とした県・市町村・警察・住民が連携した防犯体制の確立を目指し、平成25年11月から開始したコンビニ防犯ボックスを継続するとともに、平成27年度は新たに2か所設置拡大します。

・移動交番の設置（移動交番相談員の配置）

AEDを搭載した移動交番車50台、専従警察官100人・移動交番相談員50人体制により、犯罪に対する抑止力を強化し、地域住民の安全安心を確保する移動交番の取組を全県展開します。

【参考】まちの安全・安心

・交通安全施設整備事業

交通事故を防止するため、歩道等の整備、交差点改良や交通管制機器の整備、信号機・道路標識の設置等を行います。

戦略8 機運の醸成・国際交流の促進

○大会に向けた機運の醸成

・大会と連動した触れ合い機会

・パラリンピック選手のキャンプ受入体制整備事業補助金（交流会等の開催）

【新規】〔再掲〕

○国際交流と国際理解の促進

・国際交流

・国際交流推進事業 18,978千円

本県の国際交流を促進するため、姉妹州である米国ウィスコンシン州や友好関係にあるドイツのデュッセルドルフ市との交流事業等を行います。

・高校生等海外留学助成事業 21,000千円（H26 21,000千円）

県内の高校生等を対象に、海外留学をする費用の一部を助成することにより留学を促進し、語学力、コミュニケーション能力に加えて、チャレンジ精神に富む人材の育成を推進します。

・語学指導等を行う外国青年招致事業 217,116千円（H26 217,116千円）

県立学校において、外国語指導助手（ALT）による授業や、外国人児童生徒に対する日本語指導などに取り組みます。

・青少年の国際理解

・国際教育交流推進事業（教育関係者の交流・県内高校等の交流）【新規】

9,000 千円

アジア地域での教育関係者の交流事業や、県内の高校生がいる家庭でのホームステイ、ホームビジットを促進します。

○ボランティア人材の育成

・通訳ボランティア

・通訳ボランティア養成事業

7,000 千円

現在、検討が進められている「通訳ボランティア養成検討会議」での養成計画案を踏まえ、通訳ボランティアを養成します。

戦略9 戦略的な千葉の魅力発信

○全国、世界への幅広い情報発信

・東京オリンピック・パラリンピックを見据えた千葉県イメージアップ動画の制作【新規】

15,000 千円

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致や外国人観光客の増加に向け、各国の競技関係者や観客等に対しキャンプ地や訪問地としての魅力をアピールする動画を制作し、本県の知名度やイメージの向上を図ります。

・千葉の魅力発信推進事業

180,000 千円 (H26 180,000 千円)

本県への観光客の増加や県産農林水産物の購入促進など、本県経済の活性化を図るためテレビ、ラジオ、新聞広告などの効果的な活用により、本県の魅力を県内外に向けて発信します。

・世界に向けた千葉の魅力発信事業

39,000 千円 (H26 24,000 千円)

海外に向けて千葉の魅力を発信するため、これまでのトップセールス訪問先とお互いの産品等を紹介しあう「相互フェア」の開催や、海外のテレビ番組や交通広告などを活用した情報発信に取り組みます。

・海外メディアを活用した観光情報発信事業

26,600 千円 (H26 10,000 千円)

本県の魅力を海外で発信するため、現地テレビ制作会社と連携した旅行番組を制作するとともに、旅行雑誌等とのタイアップ、旅行商品の造成により、観光客の増加を図ります。

○オール千葉で多様な魅力を発信

・海外における知事トップセールス

20,000 千円 (H26 20,000 千円)

トップセールスの実施により、海外における交流の促進と農林水産物の販路拡大、観光客の誘致等を図ります。

【参考】国内外への魅力発信

・ アクアライン及び圏央道を活用した観光プロモーション

アクアライン及び今後開通予定の圏央道（神崎～大栄間）を活用した県内観光の周遊促進や観光客の誘致を図るため、PRイベントやスタンプラリー等の観光プロモーションを行います。

・ 観光プロモーション事業

ラッピングトレインなどを活用した観光キャンペーンをはじめ季節に応じた観光プロモーションを展開します。また、近年増加している他県からの教育旅行の更なる誘致に取り組みます。

・ 千葉県映画・テレビ等撮影支援事業

観光客の一層の増加及び地域経済の活性化を目的として、県内の魅力的な観光スポット等を広く発信する映画やテレビ番組等のロケーションに係る費用に対し助成します。

・ 外国人観光客向けプロモーション事業

成田空港を要する優位性等を活かして、外国人観光客を積極的に誘致するため、海外国際観光展でのPRや観光ミッション団の派遣等を実施します。

・ 海外の大学生を対象にしたモニターツアー事業

千葉県観光の魅力を広く海外にPRし、近年増加傾向にある外国人観光客の誘致促進を図るため、海外の大学生を対象としたモニターツアーを実施します。

・ 県産農林水産物魅力発信事業

県民及び首都圏の消費者等に向けて県産農林水産物の魅力を発信するため、トップセールスをはじめとしたPR活動やキャンペーン活動を実施します。

・ 「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業

県産農林水産物の輸出を拡大するため、これまでのトップセールスの効果を活かし、PR活動や輸出に取り組む生産者・団体への支援を行います。